

きずな

北九州市立折尾西小学校

学校だより 10月号

平成30年10月2日(火)

校長 成重純一

10月18日(木) コアスクール事業研究発表会開催

昨年度に続き、本年度も「コアスクール事業研究発表会」を本校で開催いたします。コアスクール事業とは、北九州市教育委員会が教科ごとに核(コア)となる学校を指定して、その教科の研究成果を市内の学校に広めていこうとする事業です。本校は、国語科のコアスクールに指定されています。

本年度から「言葉で説明する力を育てる学習指導」という主題を設定して取り組んできた研究の成果の一端を発表します。この研究は、国語科を中心として話し言葉や書き言葉で説明する力を育て、他の教科の授業で説明する力を活用させようというものです。こうすることによって、すべての教科の学習が深まり、子どもたちの学力が向上するのではないかと考えています。本校教員は、1学期から、お互いに授業を見合い、改善してまいりました。「理由が分かるように説明する話し方はどのようにあればよいか。」「説明文の学習で子どもが友達に説明したくなるには、どのような状況が必要か。」などを少しずつ明らかにしてきています。



これまでと同様、PTAやスクールヘルパーの皆様のお力をお借りして臨むこととなります。ご協力よろしくお願いいたします。

正しい鉛筆の握り方 親指に注目

基礎学力を支える上で非常に重要なのが、鉛筆の握り方です。右の写真では、上の写真が正しい握り方です。親指、人差し指、中指の三本でそっと支えるように握っています。



反対に、下の写真が間違った握り方です。このような握り方をしている子どもはかなりのいます。ポイントは、親指です。鉛筆を乗り越えて人差し指を横切るように握っています。この握り方では、「指の力が効果的に鉛筆に伝わりにくいため、余計な力が必要になる。」「親指で鉛筆の芯を隠してしまうため、それを見ようとして姿勢が悪くなる。」という問題があります。

正しく握ると、書いている途中でも鉛筆の芯が見えますから、覗き込むような姿勢にはなりません。さらに、長い文章を書き続けても疲れにくいものです。



学校でも指導を続けますが、時間は限られます。ご家庭でもお子さんの握り方を見て気付いたときに声をかけてあげてください。

どうぞよろしくお願いいたします。